

9月のほけんだより

2021年9月1日
ハレルヤ保育園

まだまだ残暑の厳しい日が続きますが、9月に入ると朝夕に涼しくなり、夏の疲れが出る頃になります。自粛生活が続く中で、生活リズムを崩さないようにして、睡眠を十分に取れゆくりと休息を取って体調管理に気を配りましょう。

防災の日

9月1日は[防災の日]

いざという時に備えて、ぜひ家族全員で確認して下さい。

【非常時の持ち出し品の準備】

リュックの中には非常時の持ち物を詰めておきましょう。

【避難する場所】

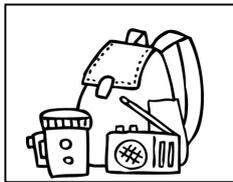
避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しましょう。

ハレルヤ保育園の避難場所は平野小学校です。

【家族がはぐれた場合の連絡方法】

はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう。

【保存食の点検を】



保存食の賞味期限の確認と中身のチェックをしておきましょう。

(災害用伝言ダイヤル)

171

小児救急電話

8 0 0 0

7 1 1 9



＊ ＊ 子どもの急な病気で困った時に ＊ ＊

・小児救急電話では、小児科医、看護師から子どもの症状に応じた適切な対処法などのアドバイスを受けることができます。

8000 は家庭で保護者がどうしたらいいかを中心に、# 7119 は緊急受診の必要性に照準を合わせて話をしています。

尚、どちらも薬の相談と育児相談は行っていません。

新型コロナ受診相談センター(休日・夜間)

(TEL072-841-1326/fax072-841-5711)

・お子様や同居されるご家族に発熱や体調不良等が見られた場合は、必ず保育園へ連絡の上、まずはかかりつけ医、またはお近くの医療機関へ電話で相談してください。

9月9日は救急の日 : 子どもにとって多いけがは、すり傷や切り傷です。けがをした時のために、応急手当を覚えておきましょう。

いざという時のために知っておきたい応急手当

すり傷・切り傷 ①傷口やその周辺を水道水で(せっけんが使用できる場合はせっけんを使って)よく洗い流します。

②傷口を、清潔なガーゼやハンカチで押さえて止血して、保護します。

* 土や砂利が多くついた傷、鋭利なものでの切り傷や刺し傷、傷口が深く大きな傷、化膿している傷、顔に出来た傷、動物による傷の時は、必ず急いで病院へ行きましょう。

※けが予防のためにもつめをきちんと切りましょう※

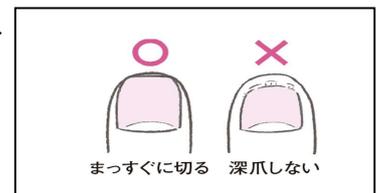
爪の切りかた→

子どもの爪は薄くやわらかいため、ひっかけて割れてしまうことがあります。

爪のトラブルを防ぐために、定期的いきちんと切るようにしましょう。

1週間に1回は切ります。足の爪は深爪にならないように注意しましょう。

(少年写真新聞ほけんニュースより抜粋)



8月の感染症報告

(8/1~28 現在)

突発性発疹 2名

RSウイルス等 4名



保健室より保護者の皆さまへ

コロナウイルス感染症の感染拡大により、枚方市においても自粛生活の継続になっていますが、子どもの定期検診、予防接種は不要不急の外出ではありません。成長過程における大切な検診、予防注射はかかりつけ医にご相談の上、随時お受けください。